

製品名: ATG7 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe85297

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 78 kDa; Observed MW: 78 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG7
別名	hAGP7; Ubiquitin-activating enzyme E1-like protein; APG7L
遺伝子 ID	10533.0
SwissProt ID	O95352
免疫原	ヒト Apg7 の合成ペプチド

背景

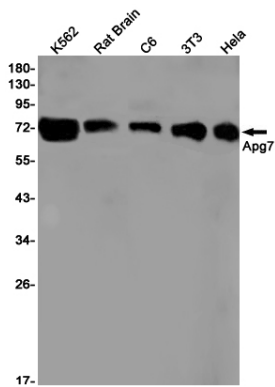
オートファジーの分子機構は主に酵母で発見され、オートファジー関連遺伝子 (Atg) と呼ばれています。オートファゴソームの形成

には、ユビキチン様結合システムが関与しており、Atg12はAtg5に共有結合してオートファゴソーム小胞へと輸送されます。この結合反応は、ユビキチンE1様酵素Atg7とE2様酵素Atg10によって媒介されます。

研究分野

オートファジー

画像データ



ATG7抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、Hela溶解物中のApg7のウェスタンブロット分析。